



町長賞
「イチョウの階段」吉田 幸司

広角レンズを効果的に使った奥行感のある写真の中に、青源寺に向かうたくさんの子どもたちと保育士さん。少子化の時代に、私たちが願う子どもたちが大勢いる佐川町の未来を表した写真。(町長)



らんまん賞「春の夜」田村 尚也

富太郎賞の候補にもなった写真。ぼんぼりが真っ白にとばないように撮影しているところも技術力の高さを感じる。人物を配し手前の道路など画角をつめるとまた違った魅力につながるかも。(審査委員長)



らんまん賞「晩秋」原田 清

とにかく構図がよい!紅葉のカラフルさと苔のしっとりした感じが大変美しい。(審査委員 T)
手前にピントをあわせ、絞りを深くすることでなるべく奥までピンぼけにならないように撮影している。このことにより奥行感がしっかりと出ている。(審査委員長)



寿衛子賞「シャボン玉天国」谷脇 良文

私もこの場所によく行くが、モデルとなる子どもたちがいなかったりすると、なかなか写真として成立しにくい。モデルの子ども、たくさんのシャボン玉、まさに撮りたいと思う内容が詰まった写真。(審査委員長)

PICK UP CONTENTS

第8回牧野公園写真コンテスト	2
職員異動	4
高北国保病院	6
かわせみからのお知らせ	7
お知らせ	11
ポタニカルニュース	24
さかわ観光協会	25
地質館だより - 桜座 Information	26
青山文庫だより	27
佐川町立図書館さくと	28
さかわ学校だより - 尾川小中一貫教育校	29

広報さかわ

5月号

令和8年5月1日発行

今月の表紙



佐川中学校の入学式の様子です。今年の新入生から制服が一新されました。これまでの詰襟学生服・セーラー服から、ブレザー姿に。少し大きめの制服に身をつつみ、緊張した面持ちで歩く姿は、なんとも初々しいですね。中学校での学生生活を、思いっきり満喫してくださいね。

牧野富太郎博士生誕記念イベントの一環として「第8回 生誕祭写真コンテスト」を開催し、博士にまつわる四季の佐川町の魅力や、好きな牧野公園の1コマなど、町内外から75点の応募をいただきました。



富太郎賞「惜別の牧野公園」林 正男

別れと出会い…そんな桜の季節ということで、中央左の列車に手を振る人物、桜の花と、ぼんぼりの明かり、川への写り込み、遠景の牧野公園。静かな雰囲気の中に列車の動感がある。静と動が合わさって一枚の写真となっている。(審査委員長)

第8回
生誕祭写真
コンテスト

佐川町の魅力や
博士の物語が詰まった

情趣ある入賞作品

審査委員長 杉野節子